

報道機関各位

## 小学生がカレーパーティーを通して「高槻咖哩物語」の取り組みの成果を発表 ～カレーがつなぐ地域と未来～

高槻市民センター(北九州市八幡東区)では、子どもたちの健全な発達・育成に向けて、世代間交流・体験活動を実施する事業を行っています。

この事業の一環として、子どもたちが南インド出身のご一家にカレー作りを学ぶとともに、スパイスや野菜の栽培、窯や食器の制作、猪猟を行っている方に話を聞くなどの活動を行ってきました。

この度、この活動でお世話になった方々をはじめ、地域の方々や保護者を招いて、「カレーパーティー」を開催し、取り組みの成果を発表することになりましたので、取材方よろしくお願ひします。

### 記

1 日時 令和5年12月27日(水)12:00～14:00

2 場所 北九州市立高槻市民センター 1階 多目的ホール  
(北九州市八幡東区中畑二丁目 5-2<高槻小学校横>)

3 出席者・参加者数  
50人程度

4 主催者 北九州市

5 内容・特色

振舞われるカレーには、子どもたちが栽培したスパイスや野菜が使われるほか、地域で獲れた猪の肉も使われる予定です。

また、カレー作りやパーティーの企画、進行も子どもたちが行います。

6 添付資料

PressRelease カレーがつなぐ地域と未来

#### 【問い合わせ先】

(当イベントに関すること)  
北九州市立高槻市民センター  
担当 (館長)河野  
電話 093-653-2677  
(市の担当窓口)  
八幡東区役所コミュニティ支援課  
担当 (課長)藤田・(係長)山本  
電話 093-671-3082

## カレーがつなぐ地域と未来

高槻市民センター主催「高槻咖哩物語」に参加した小学生12名が  
取り組みの成果をカレーパーティを通して地域に発表する

本年5月より始まった「高槻咖哩物語」（全11回）に12名の小学生が参加した。事業では、カレーづくりを南インド出身のスワミーさんご一家にカレーとチャパティの作り方を教えてもらった。加えて地域の人たちとターメリック、チリなどのスパイスや玉ネギなどカレーに使う材料を栽培したり、ナンを焼くタンドール窯やカレーを入れる器やお皿を自分たちで作ったり、地域でいのしし猟をしている人に会いに行ったりした。

今回のカレーパーティは、こうした活動でお世話になった方々や地域の人、保護者を招いて行われる。パーティの際振る舞われるカレーには、今回作ったスパイスや野菜が使われる他、地域で獲りたいのししの肉も使われる予定。また、カレーづくりやパーティの内容の企画や進行も子どもたちの手で行われる。

今回、企画を主催した高槻市民センターの河野館長は、「子どもたちには、身近なところにある1つの事柄が社会に大きくつながっていることを身近な食、カレーづくりを通して感じて欲しい」と話した。

来年1月9日（火）に事業のふりかえりとして壁新聞をつくる予定。地域に取り組みの成果をお伝えしようと考えている。



### 【高槻咖哩物語 カレーパーティ概要】（予定）

- 日 時 2023年12月27日（水）12：00～14：00
- 場 所 高槻市民センター多目的ホール
- 内 容
  - ・あいさつ
  - ・カレーの試食
  - ・スライドショー
  - ・取り組みの紹介とお礼の言葉
    - 中島さんのこと（いのしし猟のこと）
    - 作付けのこと/器づくりのこと
    - タンドール窯づくりのこと
    - カレーづくりのこと など
  - ・ゲーム
  - ・解散



#### ※未来の種事業

地域づくりの未来の担い手である子どもたちの健全な発達・育成に向けて、市民センターが中心になって、まちづくり協議会などの地域団体、子育て支援団体、NPO、企業などと協働で、世代間交流・体験活動を実施する事業。この事業は、市民太陽光発電所（北九州市が市政50周年記念事業として平成25年8月若松区響町に作った施設で、市民等から建設資金を募り、売電収入の一部を市民に還元するという、公設公営のメガソーラー施設）の売電収入を活用して実施。

お問合せ 高槻市民センター（河野）

住所 北九州市八幡東区中畑2-5-2(高槻小学校横)

電話 093-653-2677 E-mail tt-sf@ktqc03.net